

みなさんと
作ってきた

三芳の良さを活かしま 合併しても

「子育てなら三芳村」といわれた 手厚い子育て支援策の復活

三芳村が近隣の町より、人口減少率が少ないのは、手厚い子育て支援策が、若者に魅力だったから。「子育てなら三芳村」「教育熱心な村」といわれてきました。
日本共産党のみぞぐち議員は、25歳で議員に初当選してから一貫して、子どもの医療費無料化や教育の充実にとりくんできました。

合併でばっさり切り捨てられた、子育て支援策の復活を、新市での最重要課題として取り組みま

- 合併でカットされた三芳村の子育て支援策
- ▼6歳誕生日まで医療費の窓口無料(一部負担200円)
⇒月1000円まで自己負担、3歳以上は償還払い
 - ▼小学校の補助教員配置
⇒廃止
 - ▼出産一時金 36万円
⇒30万円
 - ▼幼稚園保育料月 3000円

無農薬野菜作りに努力かさね 土地改良補助などきめ細か



先月、日本有機農法研究会全国大会が地元で開かれたように、三芳村は有機農業発祥の地の一つとして有名です。
みぞぐち議員は、父親の代からの無農薬野菜作り農家の一人。村の農業振興にも

努力してきました。
三芳の農業を守り育てるため、学校給食への地元農産物の活用をもっとすすめます。小規模土地改良事業への補助を継続、充実させます。

住民運動でゴルフ場ストップ これからも豊かな環境を守

約20年前に持ち上がったゴルフ場建設計画。住民とともに反対運動に立ち上がったみぞぐち議員は、「三芳村民報」でゴルフ場の農薬汚染の危険などを知らせ、15回に及び議会や質問、建設を断念させる力になりました。いまや、豊かな環境は三芳の一番の財産です。



これからも、ゴルフ場や産廃・残土から、三芳の自然と農業を守るため、みなさんと力を合わせます。環境を守る条例を作

防犯灯電気代補助・三芳トンネル整備 暮らしに役立つ公共事業を

以前は、防犯灯の電気代負担があり、部落で新設を要望するのは大変でした。みぞぐち議員が議会で取り上げ、100%補助になりました。また、三芳トンネル内の水漏れや暗い照明を取り上げ、改

善させました。
新市になって、ムダ遣いが心配です。公共事業は、道路の改善や巡回バスなど、暮らしに役立つものを優



日本共産党村会議員
みぞぐち 仁
溝口ひとし

プロフィール

1956年3月15日生れ
 家族:父・母・妻・2男
 静岡大学農学部卒
 1981年初当選・7期
 村議会総務委員・村国保・介護運営協議会委員・三芳水道企業団議会議員
 趣味:登山、野球
 血液型:O型
 星座:うお座
 日本共産党南部地区役員

やっぱり
必要です

三芳からしっかり発言できる人

議会質問100回 議会報告チラシ299号

他には真似できない議員です

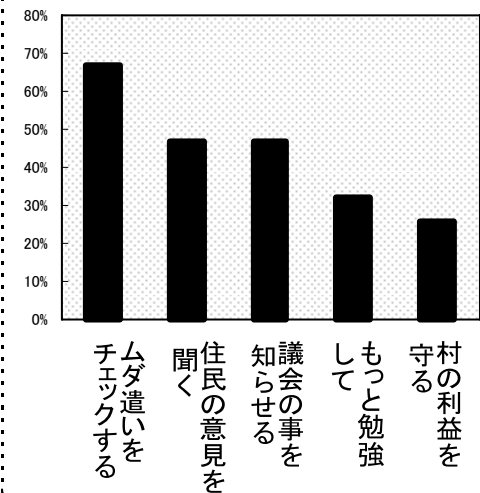
議員らしい

議員の一番の仕事は、年4回ある定例議会で質問し、行政のムダ遣いをチェックしたり、住民の願いを届けることです。

みぞぐち議員は、当選以来25年間かさず質問。この3月で100回に。「議会では、共産党だけが頑張っているように見える」という声を、これからも励みにしていきます。

また、「いつもチラシ(三芳村民報)を楽しみにしています」といついていただいている議会報告も、多くのみなさんのご支援に支えられて299号となりました。合併新市でも、引き続き発行していきます。

議員に何を望みますか
(日本共産党アンケートから)



「小さいと」は置いてけぼりか…」 三芳の切実な願いを新市にぶつけられる議員です

南房総市のなかで、最も人口の少ない三芳地域。合併で、「置いてけぼりになるのでは」という不安が寄せられています。また、三芳村の優れた住民サービスが次々

と切り下げられ、「良いことが何もない」という声もあります。

新市の議員には、こうした住民の声にこたえ、しっかり発言できる人が必要です。みぞぐち議員は、年は若くても7期25年のベテラン議員。村の願いを知り尽くし、新市にはつきりモノが言える、うってつけの人です。

今度ばかりは、党派をこえて、本当に三芳の役に立つ人を選びましょう。



合併後が不安なときだから…

三芳の代表の一人に
ぜひ、加えてください

三芳から新市の議会に出せるのは3人。新市の議会でなれ合ったり、まともに発言できない人では困ります。

日本共産党のみぞぐち議員は、しっかり発言し、きちんと報告できる人です。村の将来のために、これまでのしがらみを越えて、みなさんのご支持をお分けください。ぜひ、「家族でお話し合ってください。」

日本共産党

みぞぐち仁



村政報告会
●4月9日(日)
午後2時より
●稲都公民館